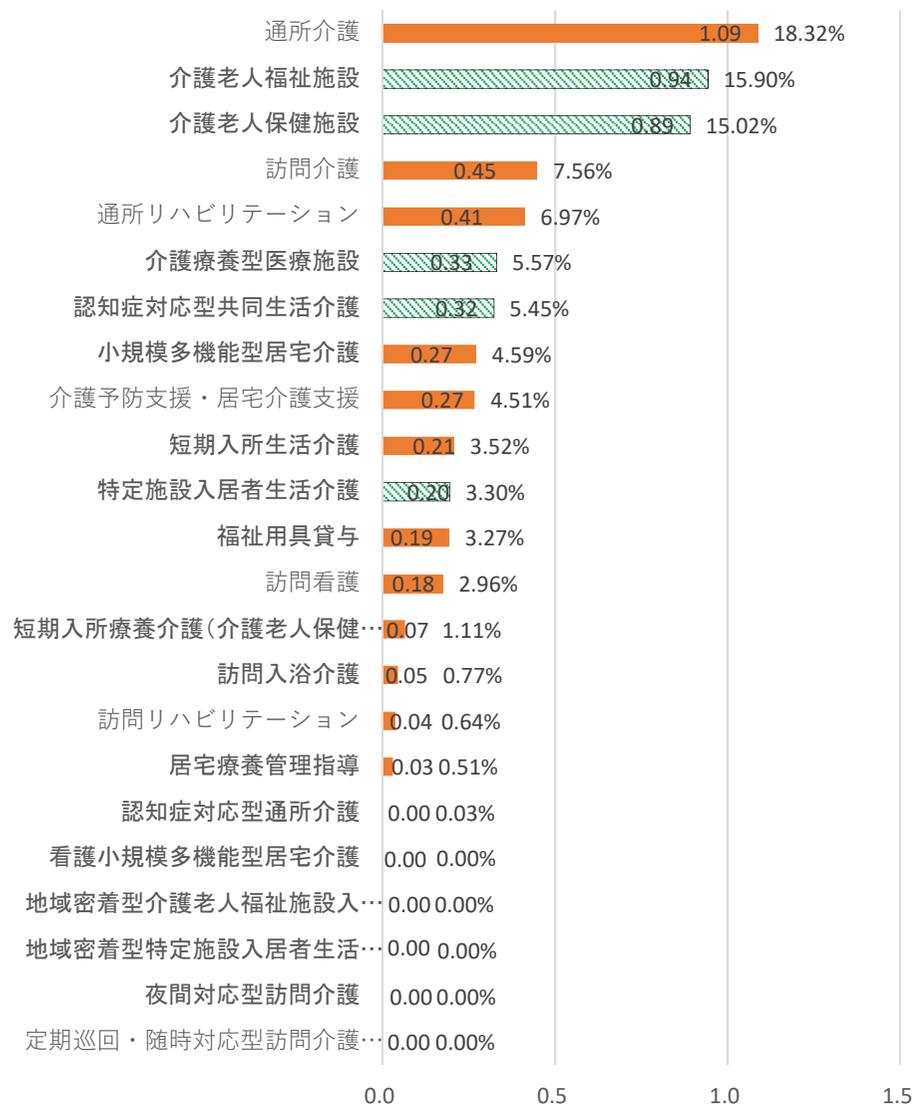
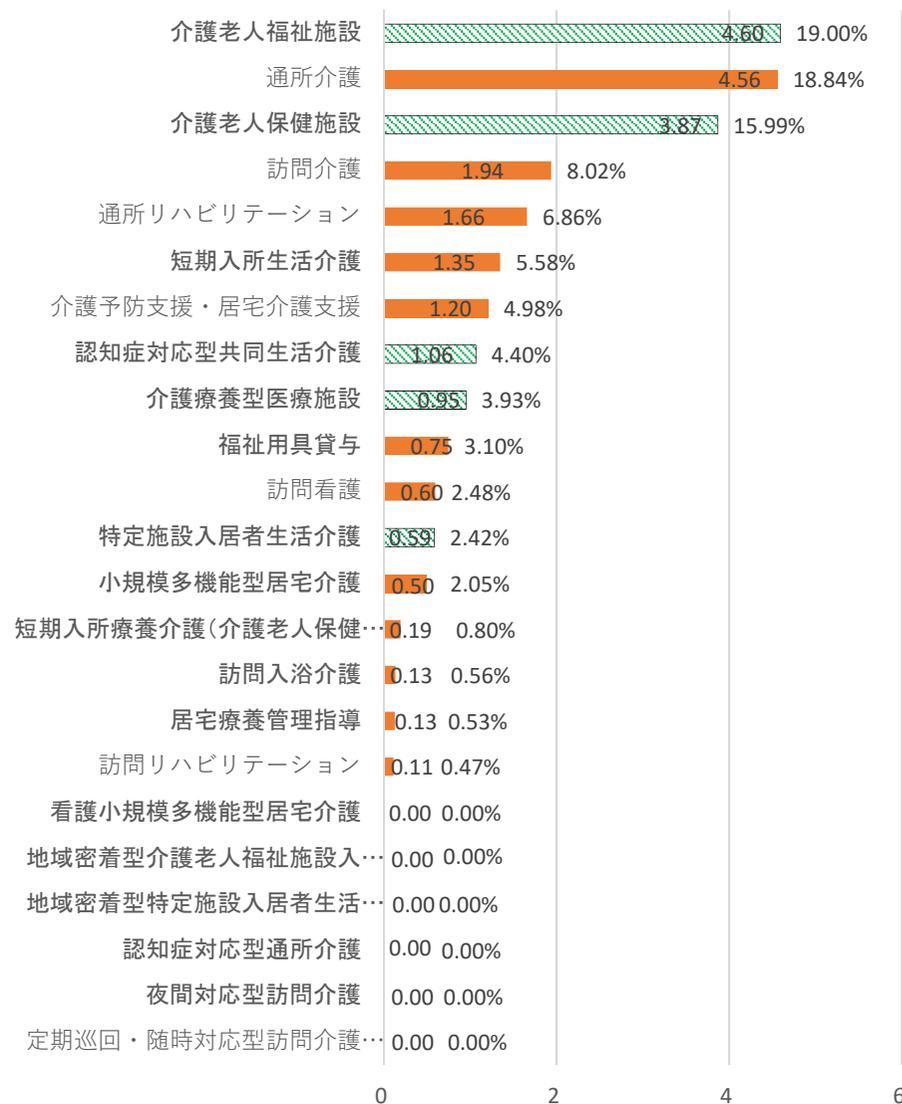


⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳 (市町村別)

総介護費用の内訳 (年額 三宅町)



総介護費用の内訳 (年額 田原本町)

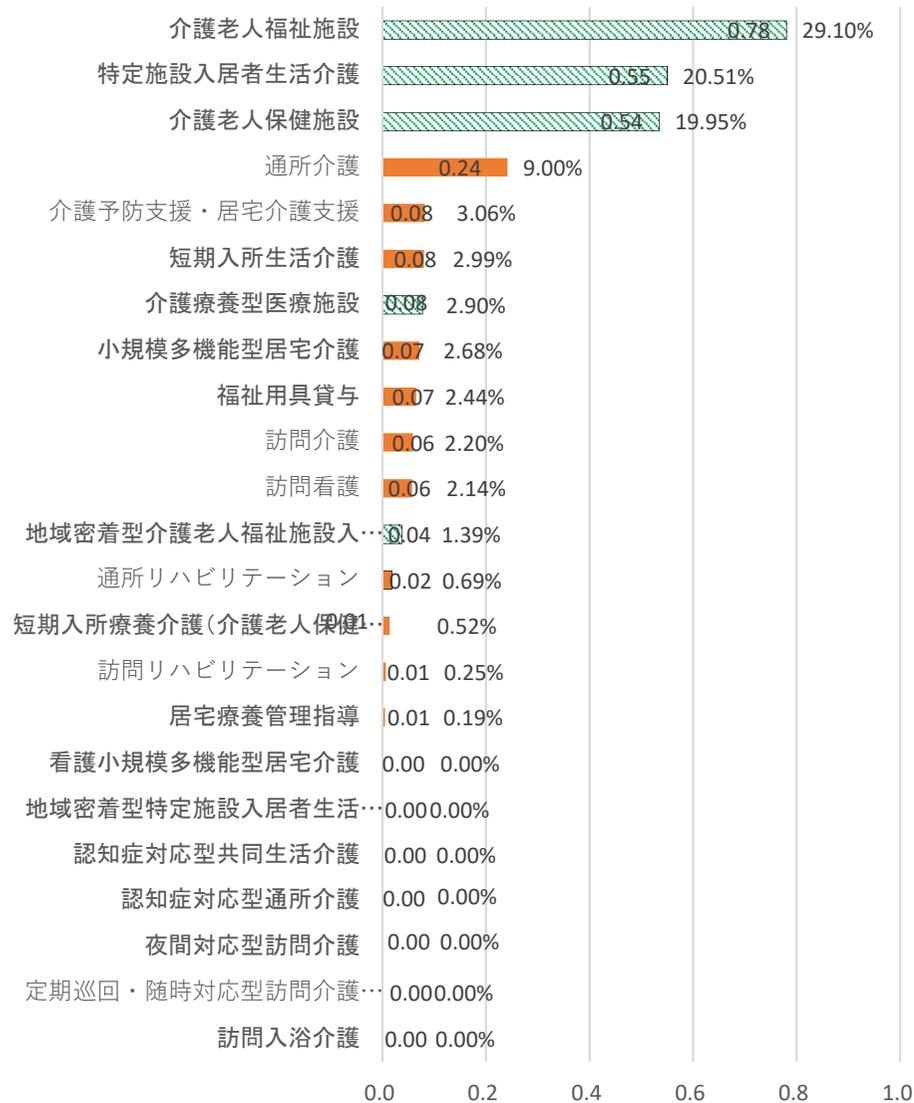


単位：億円 (年額)

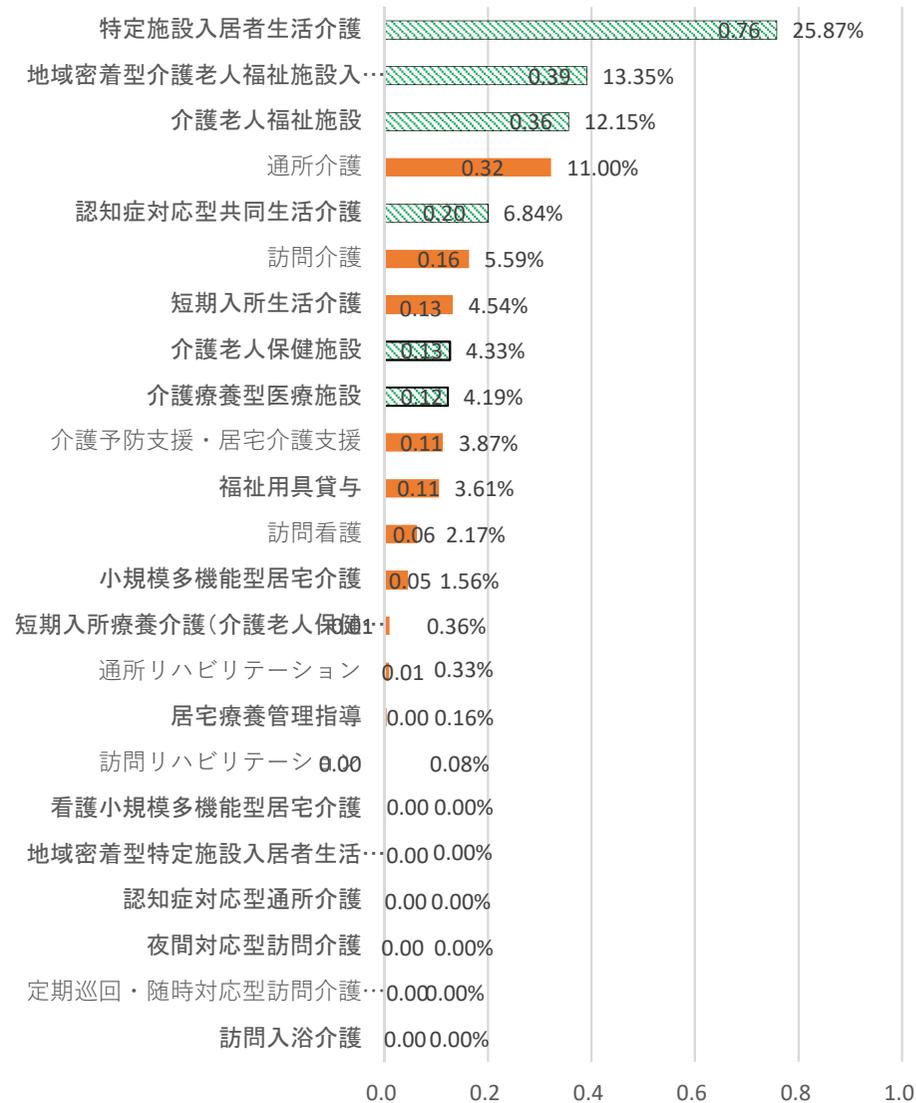
出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳（市町村別）

総介護費用の内訳（年額 曾爾村）



総介護費用の内訳（年額 御杖村）

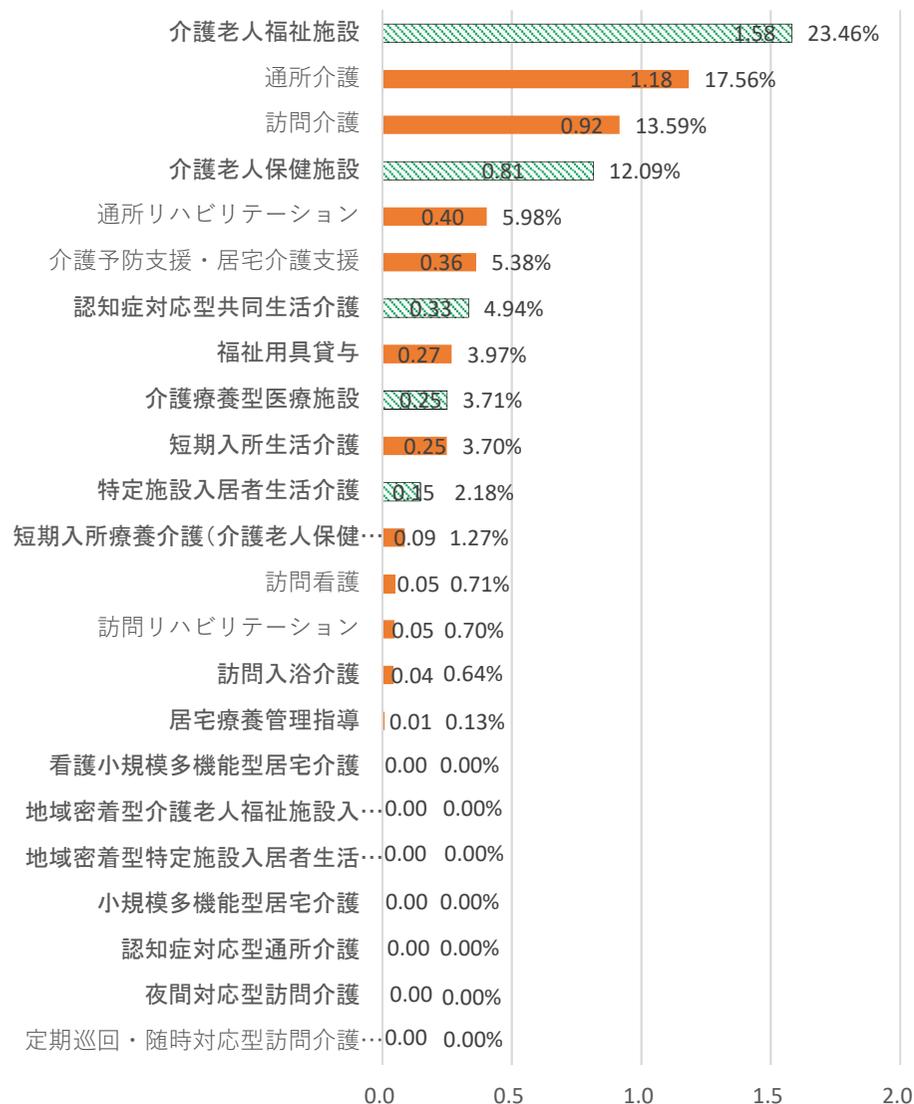


単位：億円（年額）

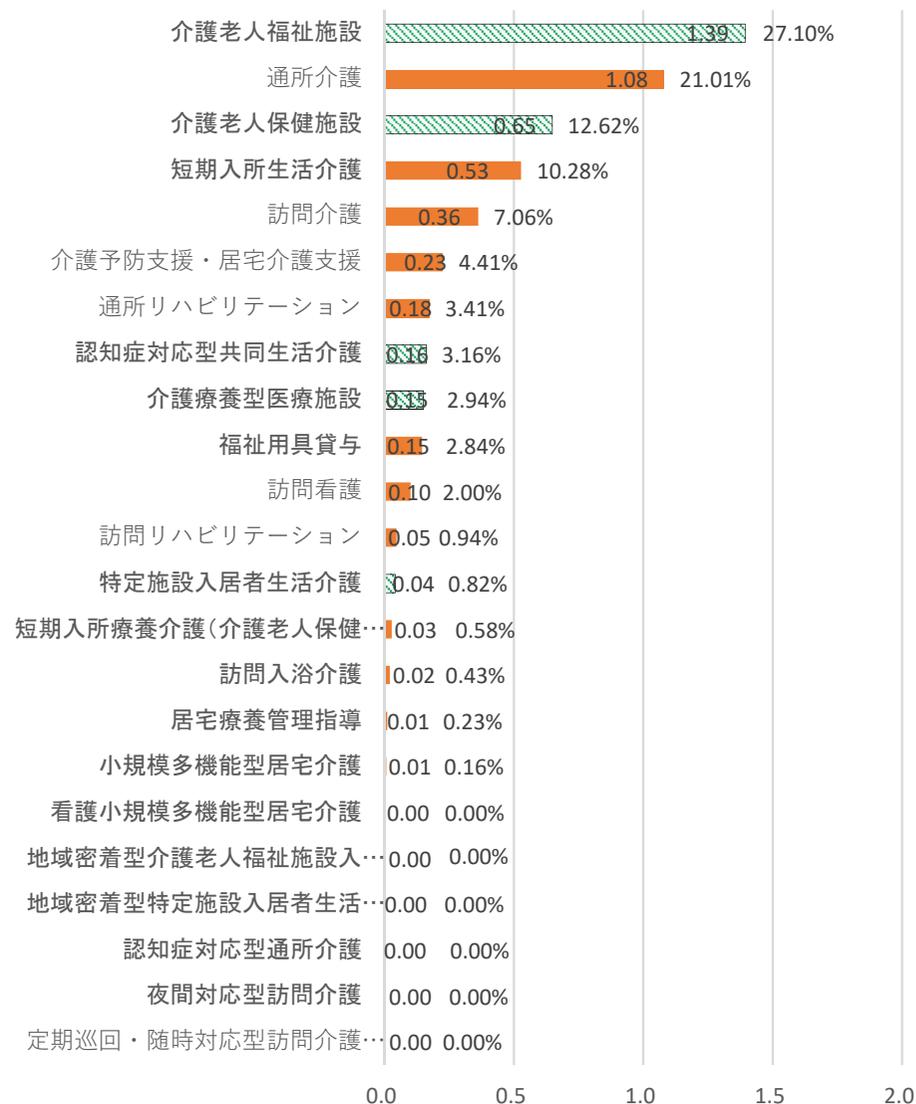
出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳 (市町村別)

総介護費用の内訳 (年額 高取町)



総介護費用の内訳 (年額 明日香村)

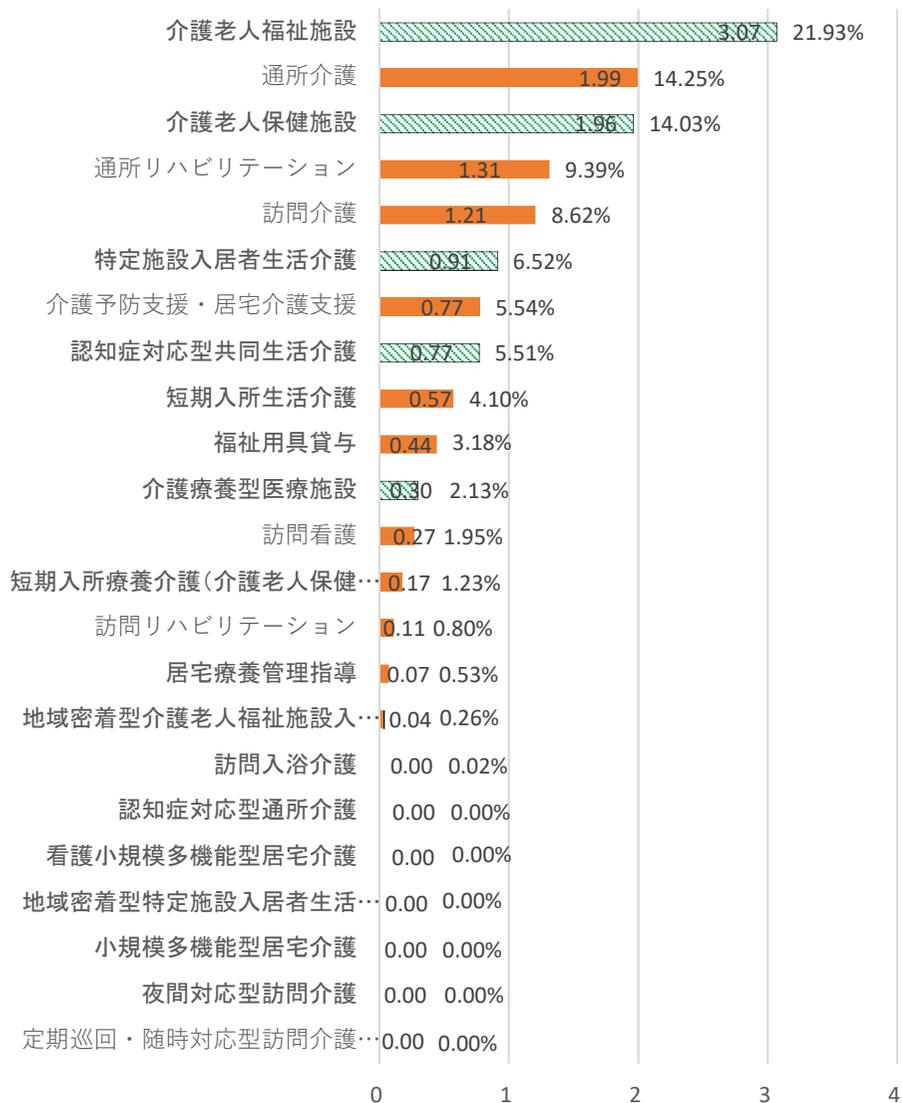


単位：億円 (年額)

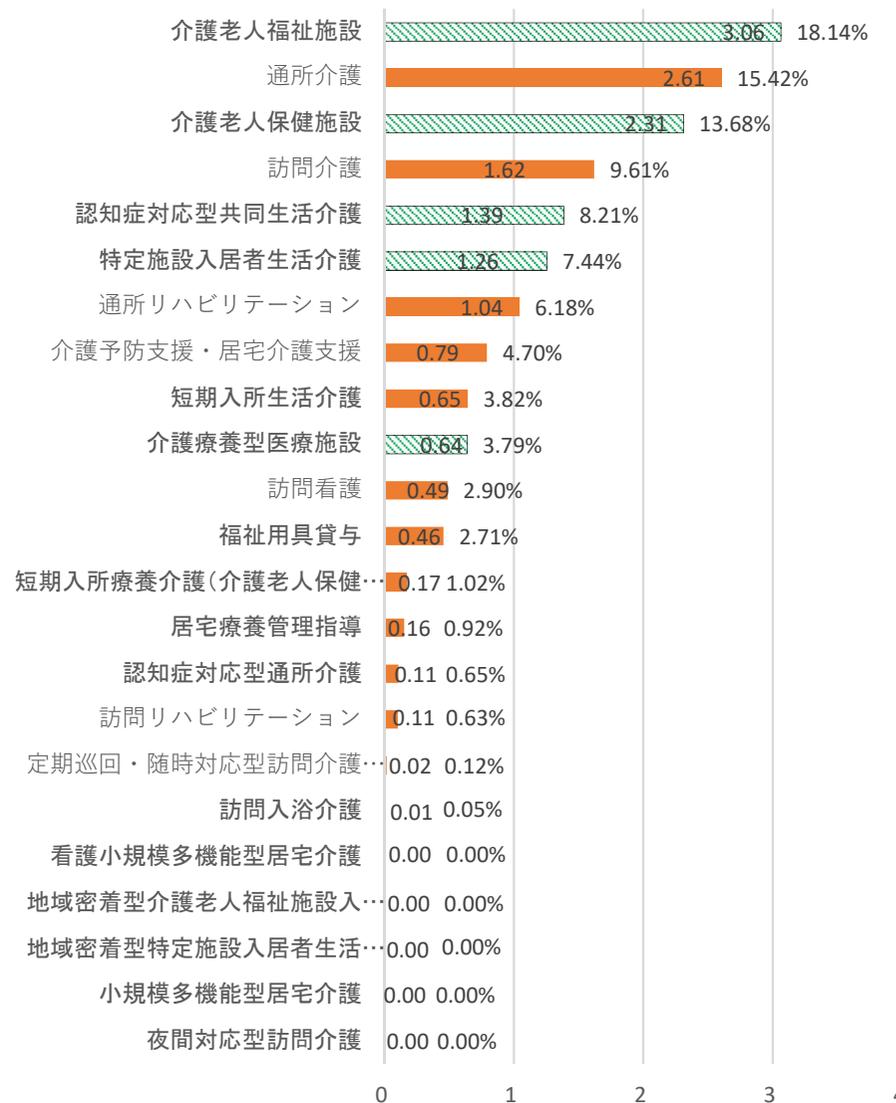
出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳 (市町村別)

総介護費用の内訳 (年額 上牧町)



総介護費用の内訳 (年額 王寺町)

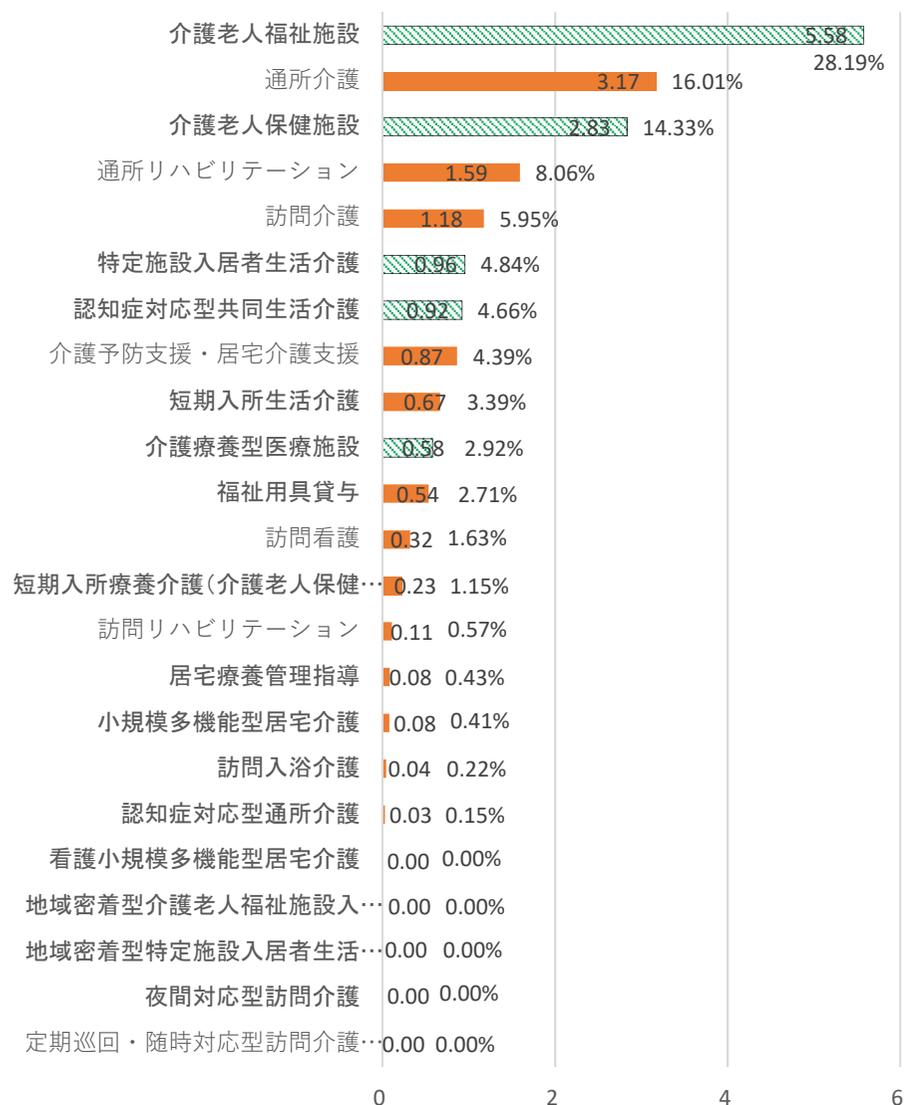


単位：億円 (年額)

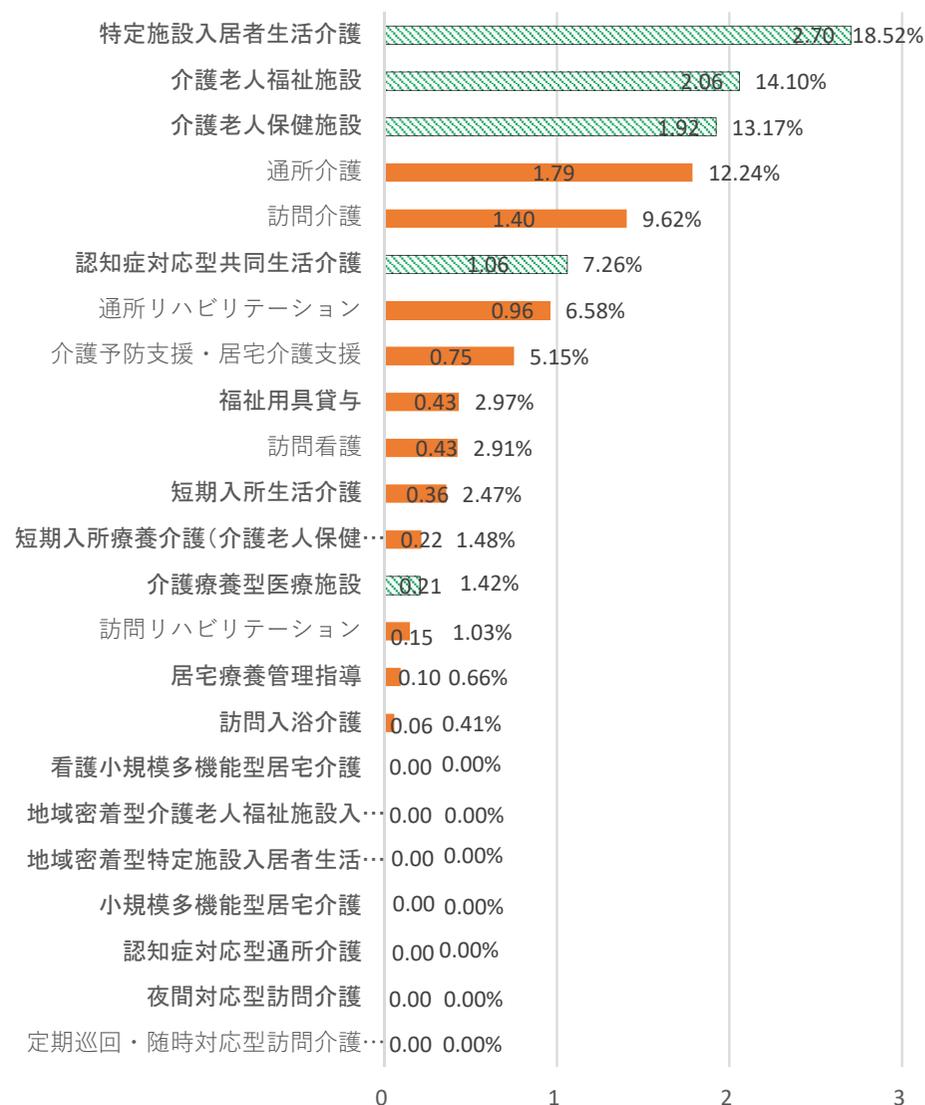
出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳（市町村別）

総介護費用の内訳（年額 広陵町）



総介護費用の内訳（年額 河合町）

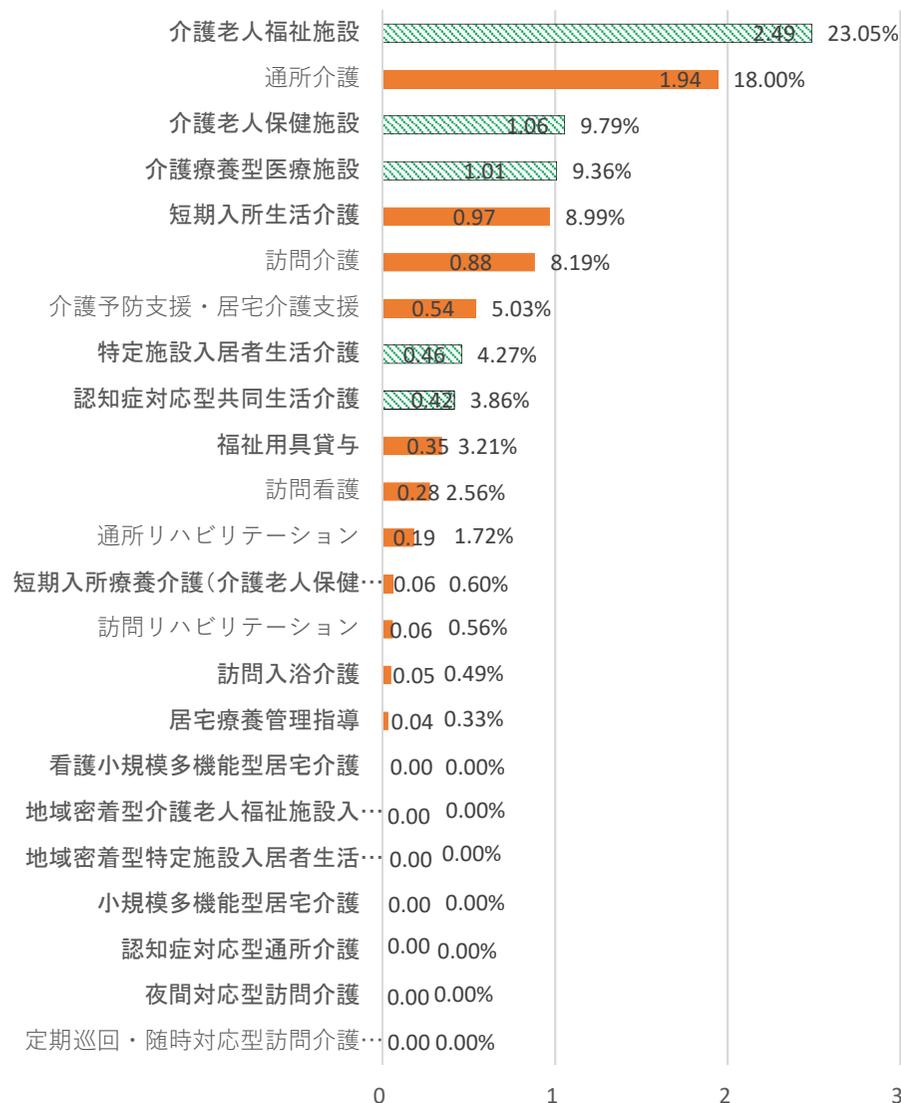


単位：億円（年額）

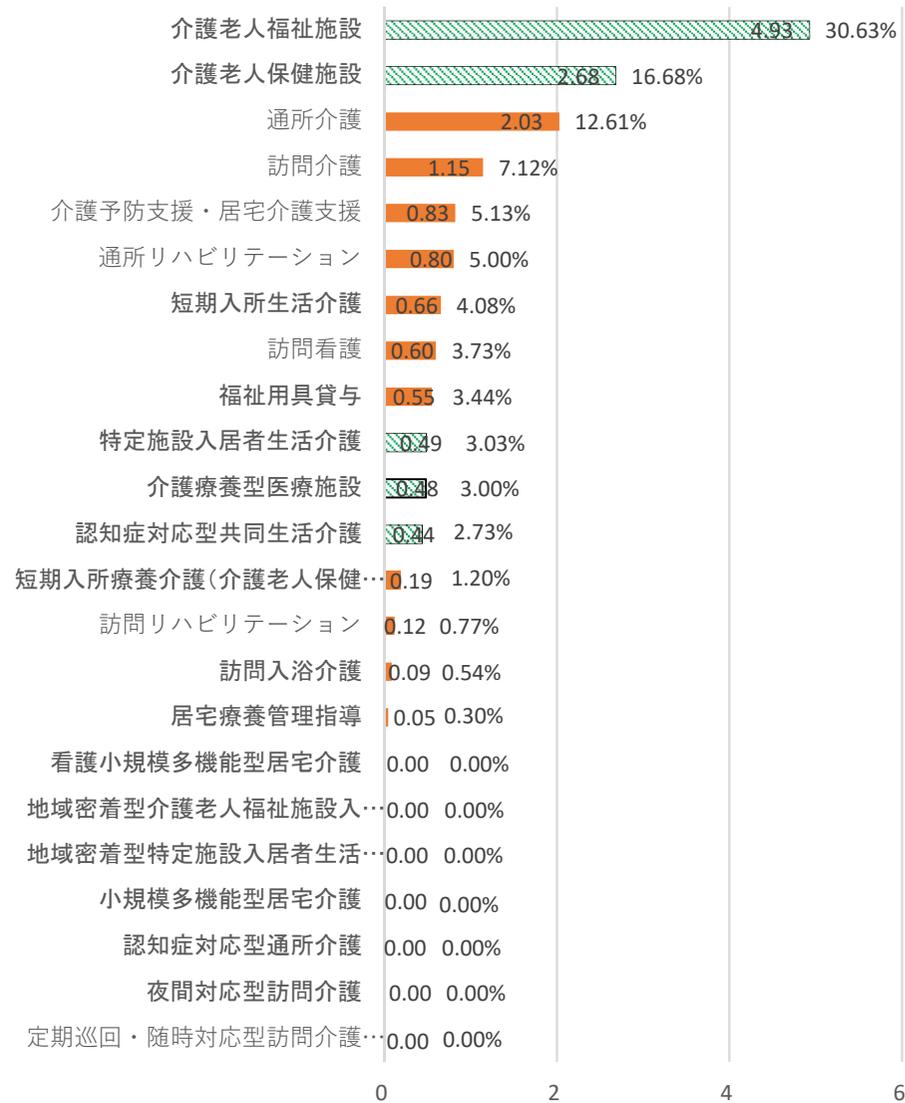
出典：介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫総介護費の介護サービス別の内訳(市町村別)

総介護費用の内訳(年額 吉野町)



総介護費用の内訳(年額 大淀町)

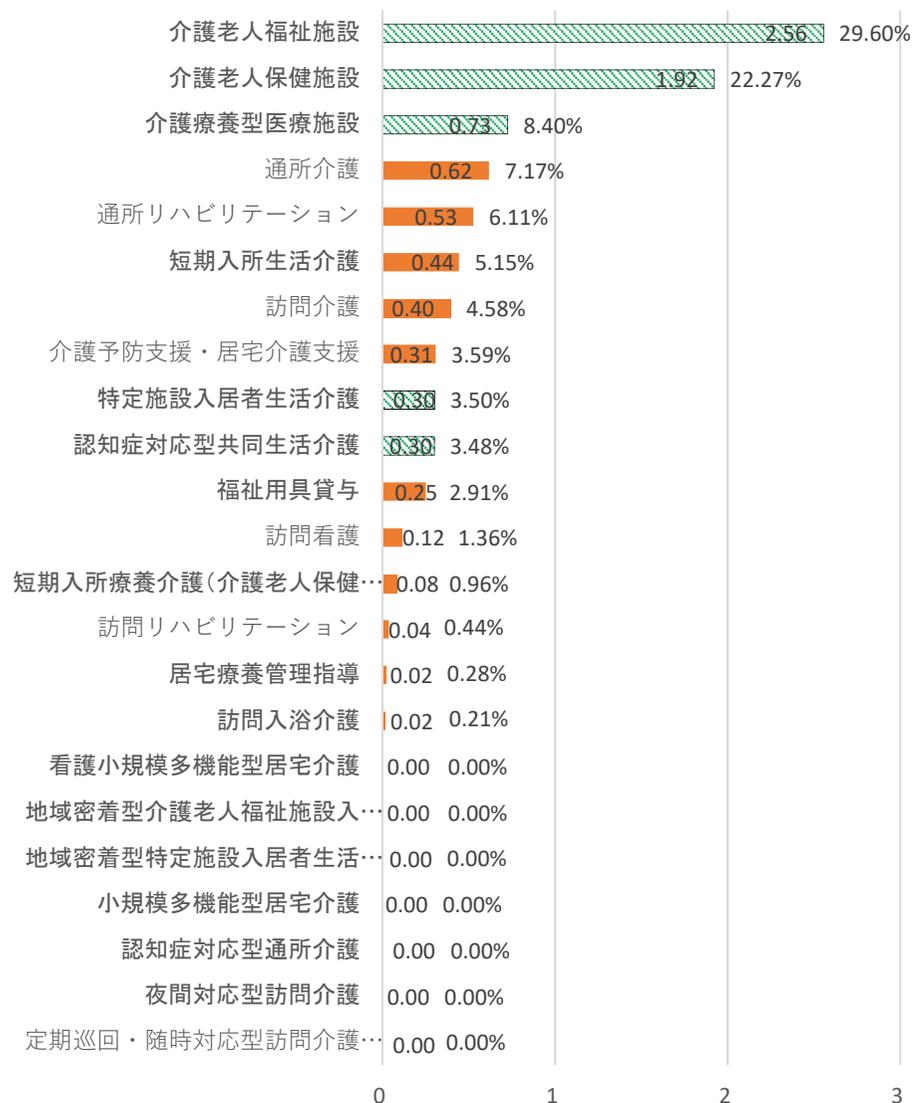


単位：億円(年額)

出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳（市町村別）

総介護費用の内訳（年額 下市町）



総介護費用の内訳（年額 黒滝村）



単位：億円（年額）

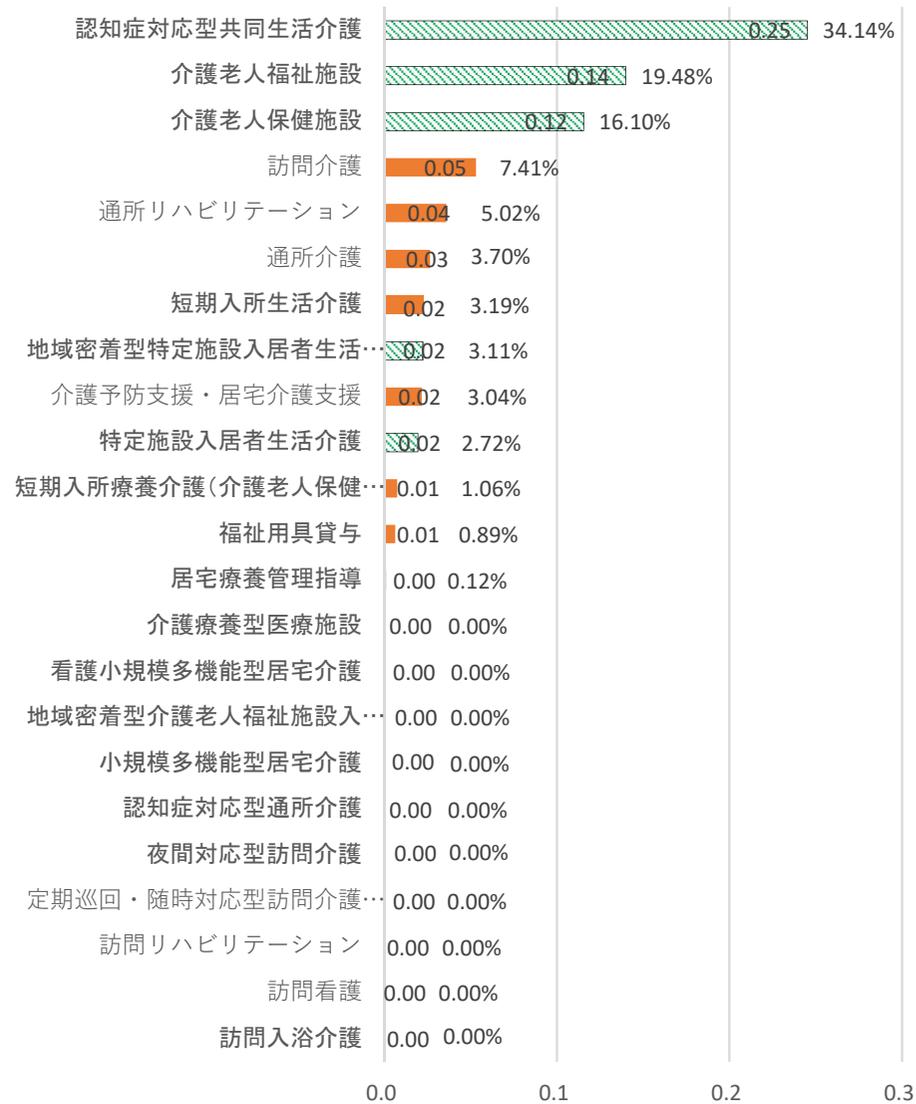
出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳 (市町村別)

総介護費用の内訳 (年額 天川村)



総介護費用の内訳 (年額 野迫川村)

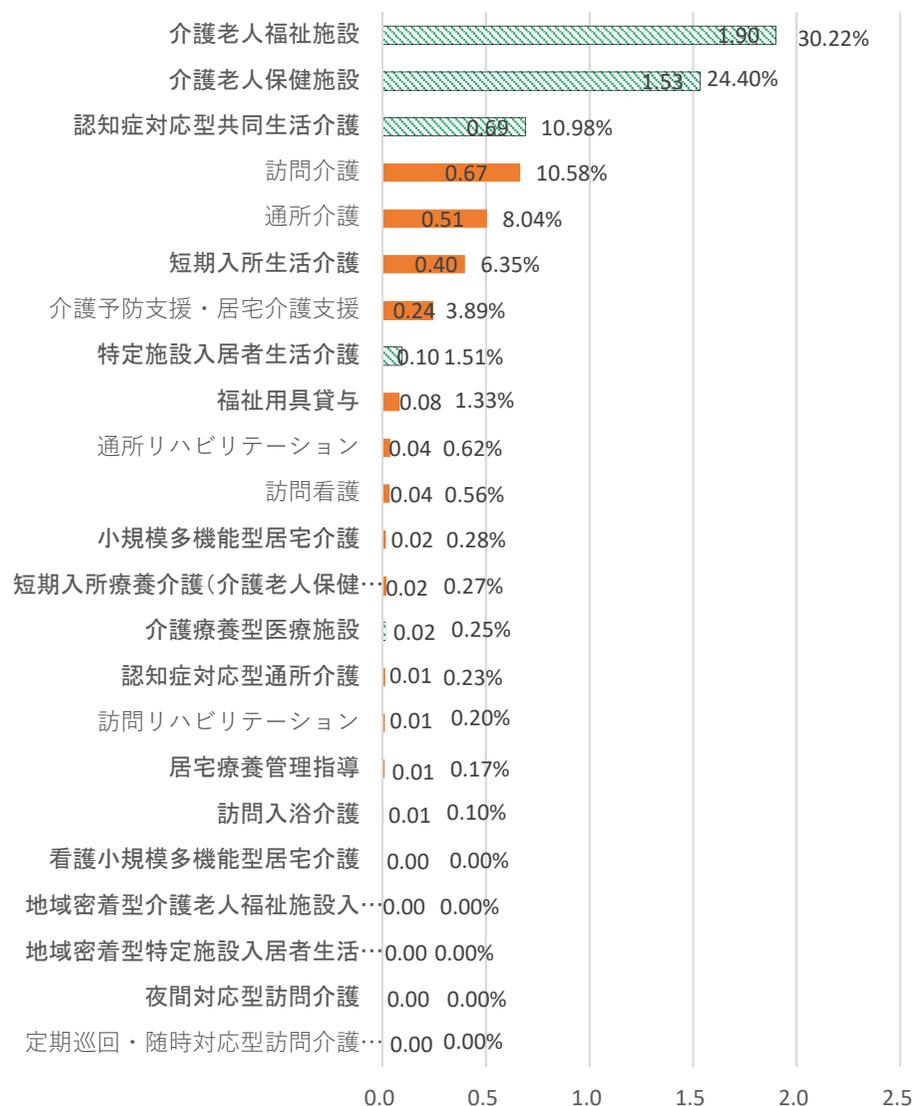


単位：億円 (年額)

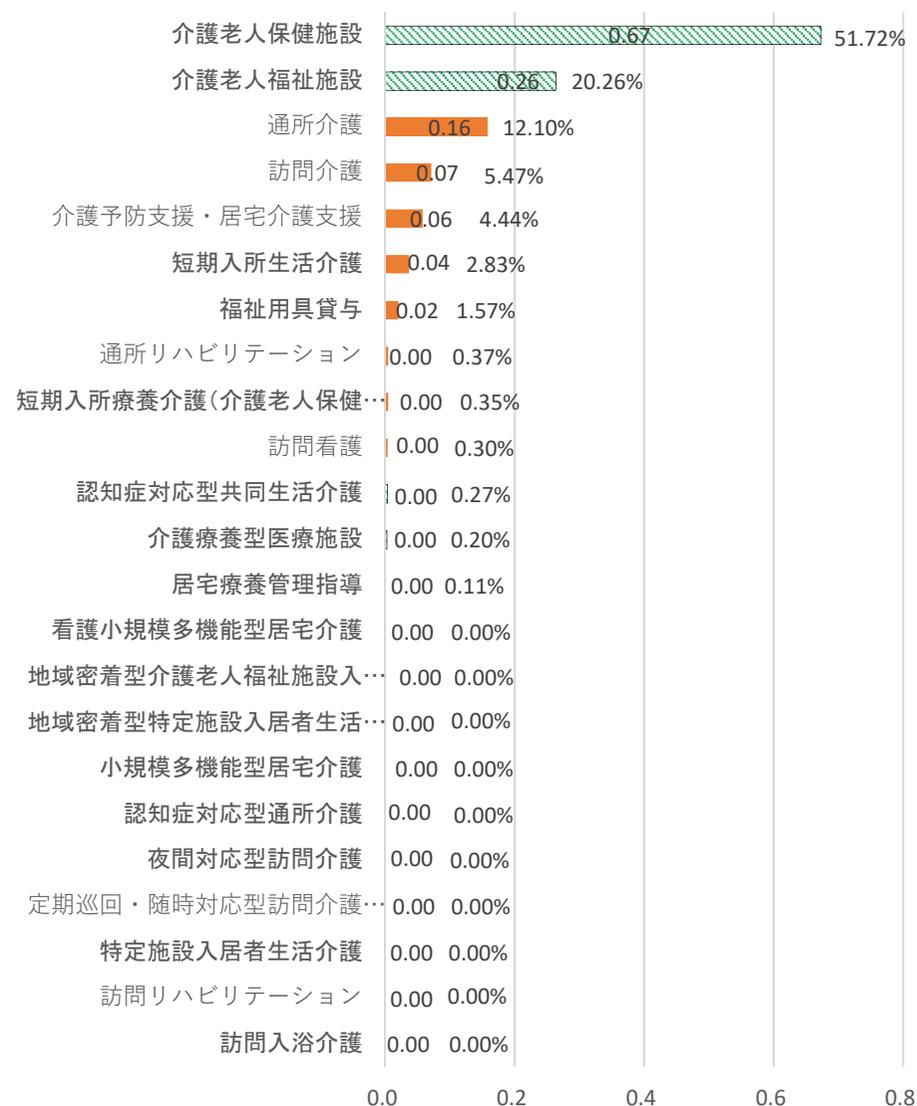
出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳 (市町村別)

総介護費用の内訳 (年額 十津川村)



総介護費用の内訳 (年額 下北山村)

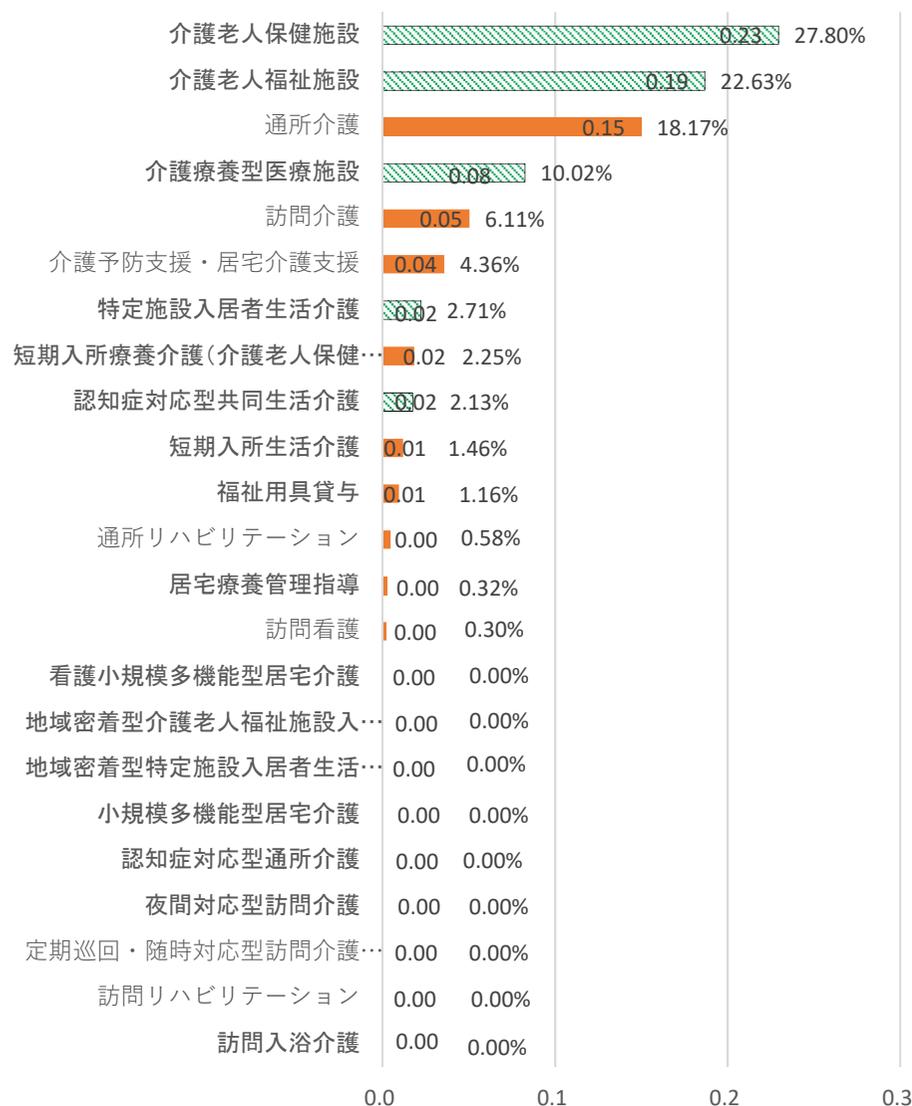


単位：億円 (年額)

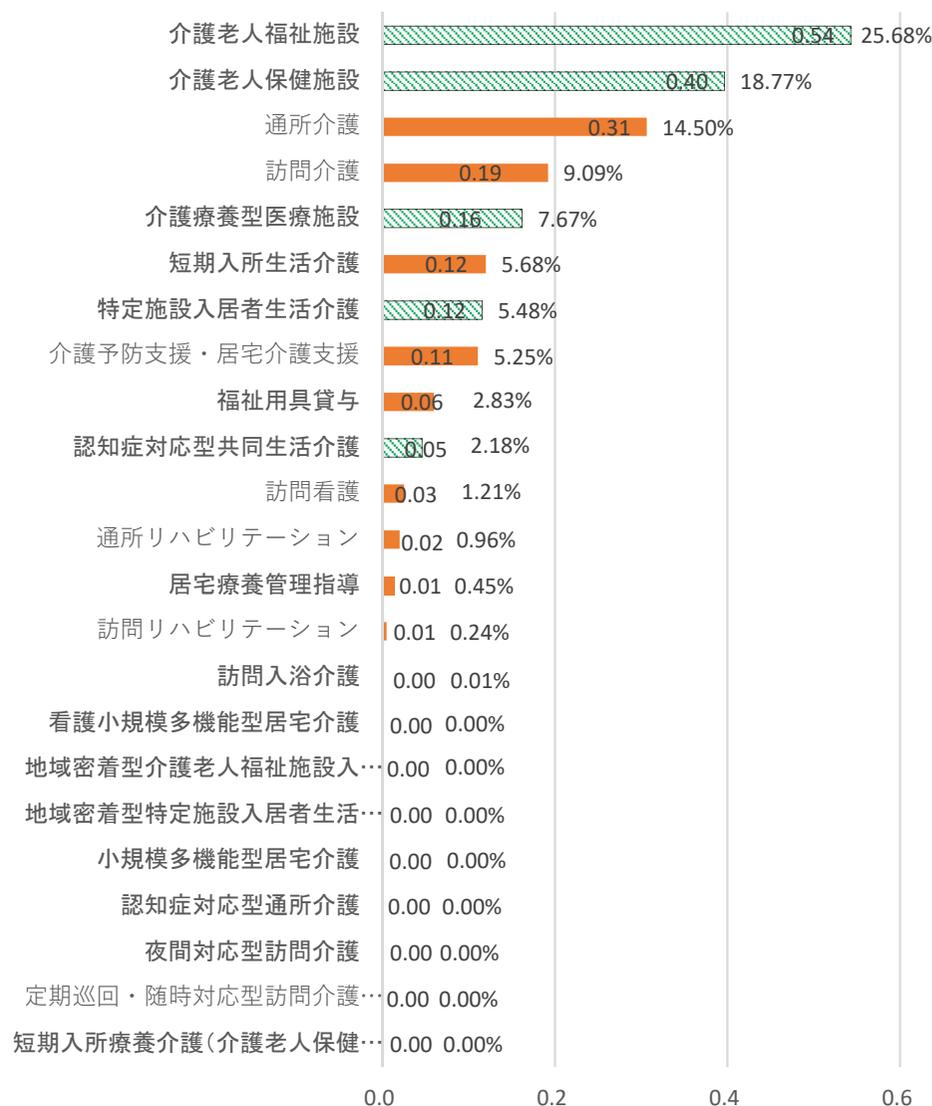
出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳 (市町村別)

総介護費用の内訳 (年額 上北山村)



総介護費用の内訳 (年額 川上村)

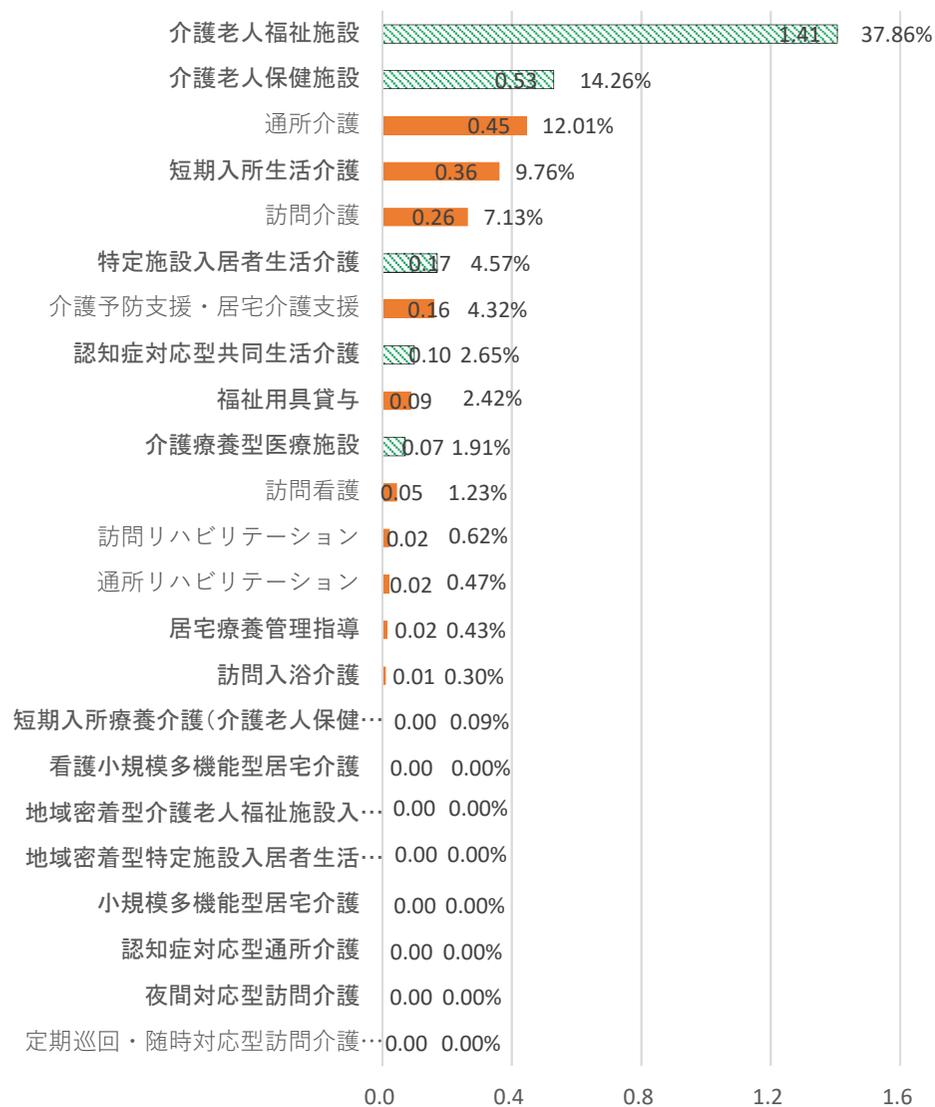


単位：億円 (年額)

出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑫ 総介護費の介護サービス別の内訳 (市町村別)

総介護費用の内訳 (年額 東吉野村)



単位：億円 (年額)

出典：
介護保険事業状況報告(H27年報)

⑬介護保険法の改正による訪問介護(生活支援中心)のケアプラン点検の実施

○ 統計的に見て通常のケアプランとかけ離れた回数(※)の訪問介護(生活援助中心型)を位置付ける場合には、ケアマネジャーは市町村にケアプランを届け出ることとする。市町村は地域ケア会議の開催等により、届け出られたケアプランの検証を行い、必要に応じ、ケアマネジャーに対し、利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、サービス内容の是正を促す。 ※「全国平均利用回数+2標準偏差」を基準として平成30年4月に国が定め、10月から施行。

訪問介護、居宅介護支援

- 訪問回数の多いケアプランについては、利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、市町村が確認し、必要に応じて是正を促していくことが適当であり、ケアマネジャーが、統計的に見て通常のケアプランよりかけ離れた回数の訪問介護(生活援助中心型)を位置付ける場合には、市町村にケアプランを届け出ることとする。
- 地域ケア会議の機能として、届け出られたケアプランの検証を位置付け、市町村は地域ケア会議の開催等により、届け出られたケアプランの検証を行うこととする。また市町村は、必要に応じ、ケアマネジャーに対し、利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、サービス内容の是正を促す。

【届出の要否の基準となる回数】

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
27回	34回	43回	38回	31回

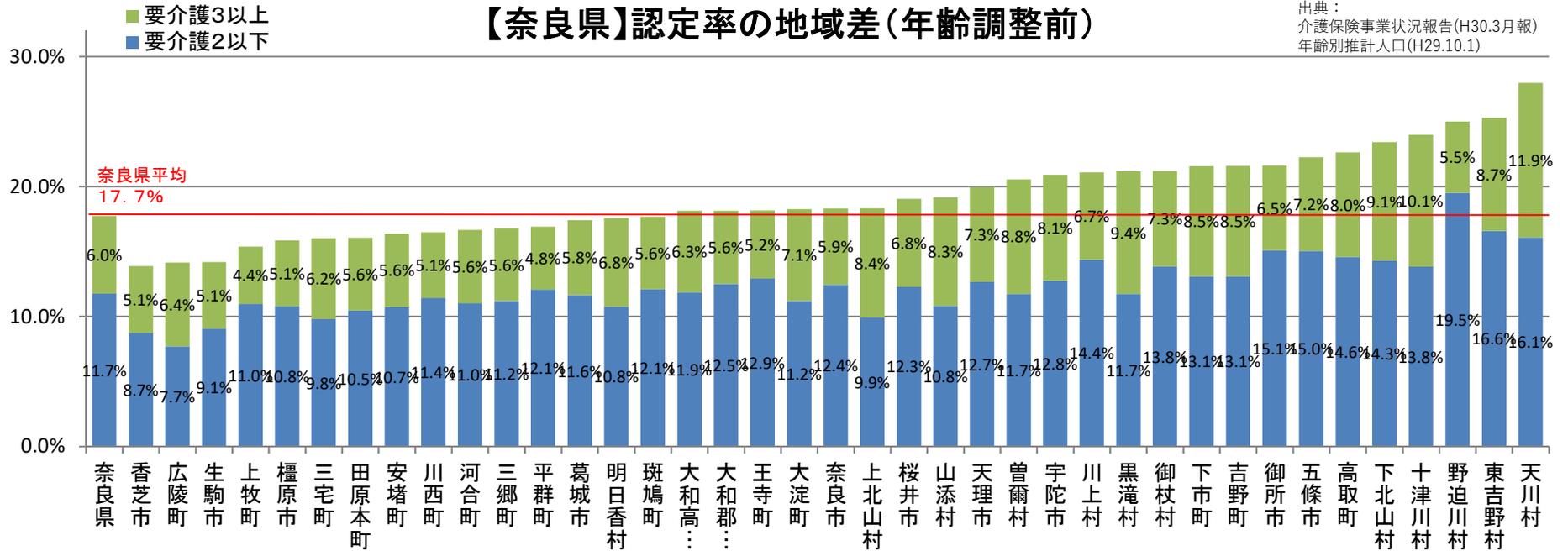
直近1年間(平成28年10月～平成29年9月)の給付実績(全国)をもとに、各月における要介護度別の「全国平均利用回数+2標準偏差(2SD※)」を基準とする。

※全国での利用回数の標準偏差に2を乗じた回数

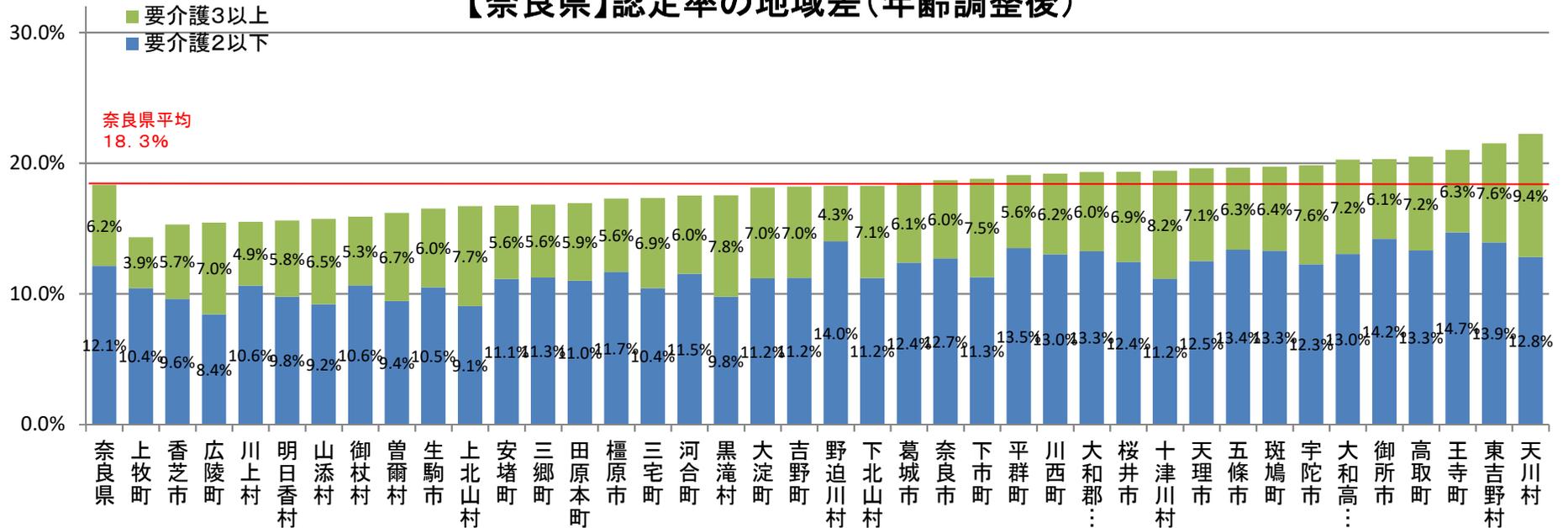
⑭認定の地域差（年齢調整前・後）

【奈良県】認定率の地域差（年齢調整前）

出典：介護保険事業状況報告(H30.3月報)
年齢別推計人口(H29.10.1)



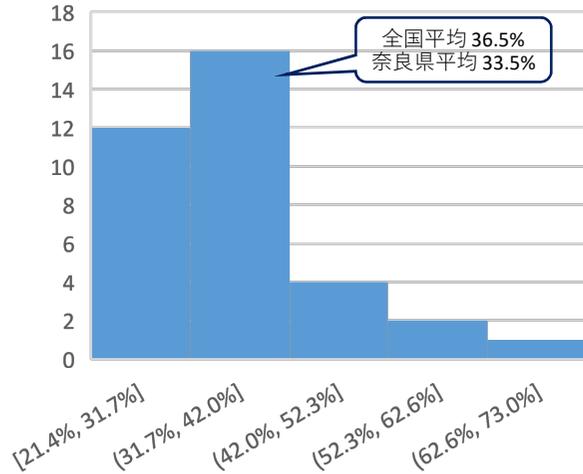
【奈良県】認定率の地域差（年齢調整後）



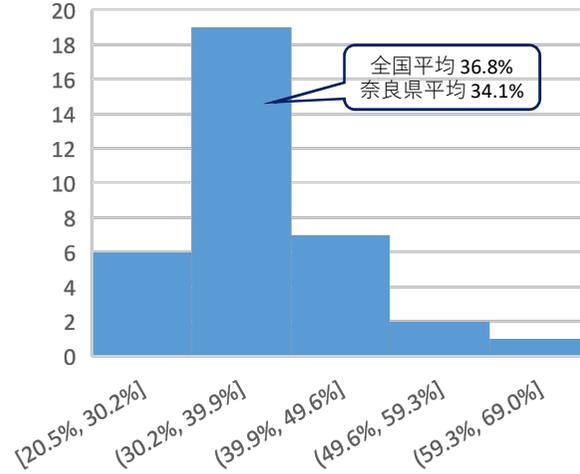
【調査項目の選択率のバラツキ】

出典：
要介護認定適正化事業 事務局
要介護認定業務分析データ(H29年度)

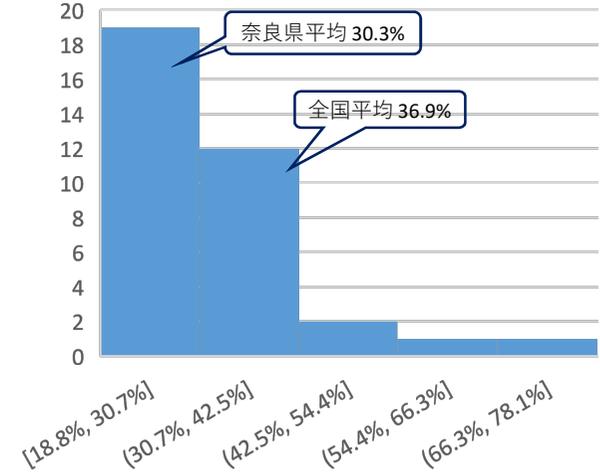
(市町村数) 1-1_麻痺(右-下肢):ある



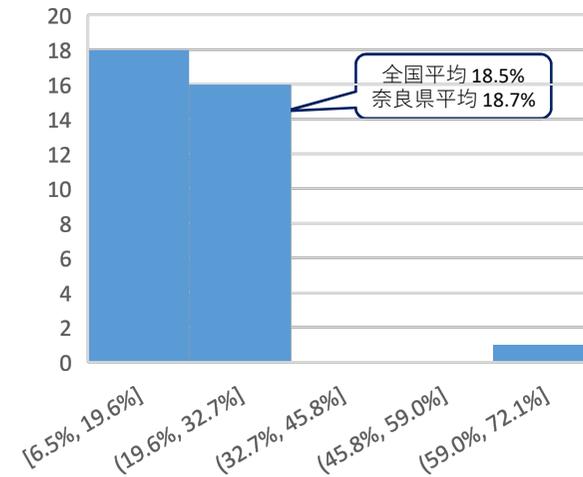
1-1_麻痺(左-下肢):ある



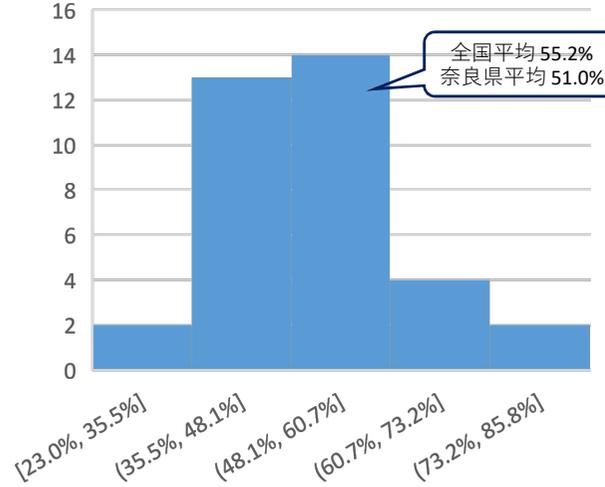
1-5_座位保持:できる



(市町村数) 1-12_視力:1m先が見える



5-3_日常の意思決定:特別な場合を除いてできる



5-5_買い物:全介助

